

小木の子 われら

校 区 内
全 戸 回 覧

令和6年8月23日発行

全国学力・学習状況調査(6年生)の結果について

校 長 高 橋 高 志

4月18日(木)に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします。右の表のように、国語・算数共に全国平均を上回りました。子どもたちの日頃のがんばりの成果がよく出ています。結果の概要は、次の通りです。

教科別 平均正答率 [%]	教科	国語	算数
	小木小平均	71	70
	県平均	67	61
	全国平均	67.7	63.4

① 国語

「知識及び技能」(メモを関連づけて整理すること・漢字を正しく書くこと)が優れていました。その一方で、「書くこと」(メモを基に文章を書くこと)に課題が見られました。今後は、例文やメモを参考にして、自分の考えが伝わるように書き表す学習を各学年で着実に実施していきます。

② 算数

「変化と関係」(「速さ」の理解)と「データの活用」(表やグラフから必要な情報を取り出すこと)が特に優れていました。一方で、どの領域でも「思考・判断・表現」に関わる問題の正答率が低かったです。全国的にも同じ傾向が見られます。今後は、学んだことを活用し、問題の解法を言葉や式を使って分かりやすく説明できることを目指します。また、一つの解法で満足せず、他の解法を考えさせることで思考力を高めていきたいです。

③ 授業におけるICTの活用

高学年を中心に活用が進み、個別最適な学びや協働的な学びの充実につながっています。今後は、ICTを活用して、自分の意見や考えを伝える活動に力を入れていきたいです。

④ 新聞を読む児童の増加

新聞を読む児童の割合が、全国平均よりも明らかに多くなっています。NIEタイムや新聞を活用した学習の成果がよく出ています。今後も、新聞に親しみながら、適切に情報を活用する児童を育てていきたいと思ひます。

⑤ 生活面の課題

平日のスクリーンタイム(ゲーム・動画視聴等)が長い傾向があるようです。今後も「元気アップ週間」や「月いちメディアデー」などで保護者の皆様と連携し、節度を持ってメディアを利用できる子どもを育てていきたいと思ひます。

今日から2学期が始まりました。職員一同、これらの課題を意識し、どの子どもも楽しく学習する中で成長を実感できるよう、日々の指導を積み重ねていきます。引き続き皆様のお力添えをお願いいたします。